

平成26年全国消費実態調査



世帯票

この調査は、統計法に基づき政府が実施する基幹統計調査です。秘密の保護には万全を期していますので、ありのままを記入してください。

この調査票は機械にかかけますので汚したり丸めたり最初に折られている以上に折ったりしないでください

1 都道府県市区町村番号 言語単位区別 一連世帯番号 世帯の別 世帯区分 抽出区分 世帯人員 就業人員 住宅区分 記入開始 調査票番号

○ 一緒に住んでいる世帯員が5人以上いる場合は、必要とする枚数の世帯票を調査員から受け取って記入してください。  
 ○ 記入する欄は○の場合は、右の例のようにぬりつぶしてください。  
 ○ 数字で記入する欄は、□の枠内に1文字ずつ右の例のように記入してください。  
 ○ 記入には黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。  
 ○ □と○の欄は記入しないでください。  
 ○ 本票は9月1日現在(単身世帯は10月1日現在)の状態について記入してください。

年の記入例 ○の記入例  
 ○平成 ○西暦 1996年  
 数字の記入例  
 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

(分からないことがあった場合、問合せに利用いたします)

I 全世帯員に共通する事項について [一緒に住んでいる世帯員について(1)から(14)欄に記入してください]

		電話番号		-		-			
(1)氏名、男女の別及び世帯主との続き柄 (3か月以上不在の家族はIIへ) ・世帯主は、名目上の世帯主ではなく、一緒に住んでいて、かつ「家計上の主たる収入を得ている人」としてください。 ・「家計上の主たる収入を得ている人」が3か月以上不在の場合は、世帯員の中から代表者を選び、世帯主としてください。	(1) 世帯員氏名	○ 男 ○ 女	(2) 世帯員氏名	○ 男 ○ 女	(3) 世帯員氏名	○ 男 ○ 女	(4) 世帯員氏名	○ 男 ○ 女	
	(2) 満年齢	□□□ 歳	(2) 満年齢	□□□ 歳	(2) 満年齢	□□□ 歳	(2) 満年齢	□□□ 歳	
	(3) 配偶者の有無	○ 配偶者あり ○ 配偶者なし	(3) 配偶者の有無	○ 配偶者あり ○ 配偶者なし	(3) 配偶者の有無	○ 配偶者あり ○ 配偶者なし	(3) 配偶者の有無	○ 配偶者あり ○ 配偶者なし	
	(4) 就業・非就業の別	就業 非就業	(4) 就業・非就業の別	就業 非就業	(4) 就業・非就業の別	就業 非就業	(4) 就業・非就業の別	就業 非就業	
	(5) 育児休業の取得の有無	取得している 取得していない	(5) 育児休業の取得の有無	取得している 取得していない	(5) 育児休業の取得の有無	取得している 取得していない	(5) 育児休業の取得の有無	取得している 取得していない	
	勤め先又は 自営事業 ・労働者派遣事業所の派遣社員の方は、派遣先となる勤め先の状況を記入してください。 ・『世帯票の記入のしかた』を参考にして詳しく記入してください。	(6) 名称		(6) 名称		(6) 名称		(6) 名称	
		(7) 事業の内容	産業分類 □□	(7) 事業の内容	産業分類 □□	(7) 事業の内容	産業分類 □□	(7) 事業の内容	産業分類 □□
		(8) 本人のしている仕事の内容	職業分類 □□	(8) 本人のしている仕事の内容	職業分類 □□	(8) 本人のしている仕事の内容	職業分類 □□	(8) 本人のしている仕事の内容	職業分類 □□
	(9) 勤め先の企業区分及び規模	① 企業区分	○ 民営 ○ 自営 ○ 官公	① 企業区分	○ 民営 ○ 自営 ○ 官公	① 企業区分	○ 民営 ○ 自営 ○ 官公	① 企業区分	○ 民営 ○ 自営 ○ 官公
		② 企業規模	4人以下 5人 30人 500人 1000人以上	② 企業規模	4人以下 5人 30人 500人 1000人以上	② 企業規模	4人以下 5人 30人 500人 1000人以上	② 企業規模	4人以下 5人 30人 500人 1000人以上
	(10) 学校の種別 ・選択肢の内容については、『世帯票の記入のしかた』を参考にしてください。	(10) 学校の種別	保育所 幼稚園 小学校 中学校 高校	(10) 学校の種別	保育所 幼稚園 小学校 中学校 高校	(10) 学校の種別	保育所 幼稚園 小学校 中学校 高校	(10) 学校の種別	保育所 幼稚園 小学校 中学校 高校
		(11) 国公立・私立の別	○ 国公立 ○ 私立	(11) 国公立・私立の別	○ 国公立 ○ 私立	(11) 国公立・私立の別	○ 国公立 ○ 私立	(11) 国公立・私立の別	○ 国公立 ○ 私立
	(12) 各種学校・塾など	○ 通っている ○ 通っていない	(12) 各種学校・塾など	○ 通っている ○ 通っていない	(12) 各種学校・塾など	○ 通っている ○ 通っていない	(12) 各種学校・塾など	○ 通っている ○ 通っていない	
	(13) 介護をしている状況	○ 介護をしている ○ 介護をしていない	(13) 介護をしている状況	○ 介護をしている ○ 介護をしていない	(13) 介護をしている状況	○ 介護をしている ○ 介護をしていない	(13) 介護をしている状況	○ 介護をしている ○ 介護をしていない	
(14)は、40歳以上の世帯員全員について、その方の要介護・要支援認定の状況(認定を受けているか否かなど)を記入してください									
(14) 要介護・要支援認定の状況	認定を受けていない 要介護認定を受けている 要支援認定を受けている	(14) 要介護・要支援認定の状況	認定を受けていない 要介護認定を受けている 要支援認定を受けている	(14) 要介護・要支援認定の状況	認定を受けていない 要介護認定を受けている 要支援認定を受けている	(14) 要介護・要支援認定の状況	認定を受けていない 要介護認定を受けている 要支援認定を受けている		
・9月1日(単身世帯は10月1日)時点で受けている認定の状況について記入してください		居宅サービス・デイサービス・短期入所(ショートステイ)について 利用している ○ 利用していない		居宅サービス・デイサービス・短期入所(ショートステイ)について 利用している ○ 利用していない		居宅サービス・デイサービス・短期入所(ショートステイ)について 利用している ○ 利用していない			

II 3か月以上不在の家族について

2

<p>(15) 家計を主に支える人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家計上の主たる収入を得ている人で、3か月以上不在の人がいる場合に記入してください</li> <li>・9月1日（単身世帯は10月1日）の前後を通じて3か月以上の期間不在となることが見込まれる場合も記入してください</li> </ul> <p>氏名</p> <p>不在理由</p> <p>世帯主の配偶者</p> <p>子の配偶者</p> <p>世帯主世帯主の父母</p> <p>世帯主世帯主の父母</p> <p>孫 祖父母 兄弟 姉妹 他の親族</p>	<p>(16) その他の人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(15)以外の人で、家計の一部又は全部をこの世帯の収入に頼っている人のうち、3か月以上不在の家族がいる場合に記入してください</li> </ul> <p>入院</p> <p>介護保険施設入所</p> <p>他の介護施設入所</p> <p>学業</p> <p>その他</p>
---	--

III 子の住んでいる場所について

(17) 子の住んでいる場所

- ・2人以上の子がいる場合は、最も近くに住んでいる子について記入してください
- ・未婚の子のほか、既婚の子や、子の配偶者も含まれます

子はいない

一緒に住んでいる（同一敷地内を含む）

徒歩5分程度の場所に住んでいる

片道15分未満の場所に住んでいる

片道1時間未満の場所に住んでいる

片道1時間以上の場所に住んでいる

IV 被災に関する事項について

(18) あなたの世帯は、過去5年間に罹災証明書を受けたことがありますか

いいえ → (22)へ

はい

・人の災害によるものを除きます

(19) 災害の種類

地震・津波

風水害（台風など）

その他

(20) 被災した年月

平成 西暦

年 月

(21) 被災による転居の有無

転居したことはない

転居したが元の住居に戻っている

今も転居先にいる

V 単身世帯について

(22) 単身世帯の形態

あなたが単身世帯である場合のみ記入してください

単身赴任

単身世帯

その他

VI 現住居等に関する事項について

(23) 住居の構造

木造（防火木造を除く）

防火木造

鉄骨・鉄筋コンクリート造

その他（ブロック造、レンガ造など）

(24) 住居の延べ床面積

坪を㎡に換算するときは3.3倍してください

うち業務用面積

(25) 住居の建て方

一戸建

共同住宅（アパート、マンションなど）

階建の 階に居住

その他（長屋建・テラスハウスを含む）

(26) 住居の所有関係

親の名義の家や子の名義の家に、家賃を払わないで住んでいる場合も「持ち家」に記入してください

持ち家

民営の賃貸住宅

都道府県・市区町村営賃貸住宅

都市再生機構・公社等の賃貸住宅

社宅・公務員住宅（借上げの社宅を含む）

借間

寮・寄宿舎

(持ち家の世帯)

(27) 地代支払の有無

支払っていない

支払っている

(28) 住居の敷地面積

・借地の場合も記入してください

・マンションなどの共同住宅や長屋建の場合は、むね全体の敷地ではなく、住んでいる住宅の敷地相当分（区分所有分）について記入してください

坪を㎡に換算するときは3.3倍してください

(29) 住居の建築時期

昭和40年以前（1965年以前）

昭和

平成

西暦

(持ち家以外の世帯)

(30) 住居への入居時期

平成20年以前（2008年以前）

平成

西暦

二人以上の世帯及び「(22)単身世帯の形態」で「その他」を選択した単身世帯の方は、「(32)及び(33)も記入してください」

「(22)単身世帯の形態」で「単身赴任」又は「出稼ぎ」を選択した単身世帯の方は、記入する必要はありません

(31) 設備の有無（平成元年以降に取得したもの）

・『世帯票の記入のしかた』を参考にして記入してください

・平成元年は、平成1年と記入してください

・西暦は、4桁で記入してください

	数量	取得時期
システムキッチン	なし (台) / あり (台)	平成 / 西暦 年
IHクッキングヒーター	なし (台) / あり (台)	平成 / 西暦 年
洗濯洗面化粧台	なし (台) / あり (台)	平成 / 西暦 年
温水洗浄便座	なし (台) / あり (台)	平成 / 西暦 年
床暖房	なし (畳) / あり (畳)	平成 / 西暦 年
太陽熱温水器	なし / あり	平成 / 西暦 年
太陽光発電システム	なし / あり	平成 / 西暦 年
高効率給湯器（エコキュート、エコジョーズ、エコフィール）	なし / あり	平成 / 西暦 年
家庭用コージェネレーションシステム（エコウィル、エネファーム）	なし / あり	平成 / 西暦 年
家庭用エネルギー管理システム（家電機器や給湯機器などを宅内ネットワークにより自動制御し、省エネルギーを促進させるシステム）	なし / あり	平成 / 西暦 年

VII 現在住んでいる住居以外の住宅及び土地について

（現住居以外の住宅又は土地について (32)及び(33)欄に記入してください）

・該当する住宅又は土地を4ヶ所以上所有している場合は、必要とする枚数の世帯票を調査員から受け取って記入してください。

・家族以外の人と共有名義で所有している場合は、家族の所有分を記入してください。

・共同住宅及び長屋建の場合は、家族の所有分を記入してください。なお、所有する住宅の延べ床面積及び敷地面積が不明の場合は、その共同住宅の総住宅面積及び総敷地面積を総住宅数であん分してください。

・昭和64年・平成元年は、平成1年と記入し、西暦は、4桁で記入してください。

・坪を㎡に換算するときは3.3倍してください。

(32) 現住居以外の住宅をあなた又はあなたの家族名義で所有していますか（法人名義は除きます）

所有している

所有していない

①	建築時期	住宅の延べ床面積	住宅の構造
昭和40年以前（1965年以前）	千 百 + -	㎡	木造 防火木造 鉄骨・鉄筋コンクリート造
昭和			
平成	年		
西暦			
②	昭和40年以前（1965年以前）	千 百 + -	木造 防火木造 鉄骨・鉄筋コンクリート造
昭和			
平成	年		
西暦			
③	昭和40年以前（1965年以前）	千 百 + -	木造 防火木造 鉄骨・鉄筋コンクリート造
昭和			
平成	年		
西暦			

(33) 現居住地以外の土地（住宅用）をあなた又はあなたの家族名義で所有していますか（法人名義は除きます）

所有している

所有していない

山林・農地等でも住宅を建てる目的で所有している場合は、記入してください

①	所在地	敷地面積
都道府県	市区等	千 百 + -
区町村		㎡
②	都道府県	市区等
区町村		千 百 + -
敷地面積		㎡
③	都道府県	市区等
区町村		千 百 + -
敷地面積		㎡